キッチンセット Ⓗ

吊戸棚

取付・設置説明書

この説明書はお客さまに必ずお渡しください。

必ずお守りください

表示について

この取付・設置説明書では、製品を安全に正しく取付・設置し、お客さまや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、下の表示を行っています。いずれも使用者の安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告

この表示を実行しないで取付・設置すると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この記号は禁止の行為であることを告げるものです。

⚠注意

この表示を実行しないで取付・設置をすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

この記号は必ず実行していただきたいことを告げるものです。

本体に同梱されている取扱説明書は、お客さまにお渡しする大切な書類です。
紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取付・設置完了後、お引き渡し時にお客さまにお渡しください。

本製品のホルムアルデヒド発散区分

	表示内容	
1	商品名	キッチンセット
2	企業名	株式会社 LIXIL
3	ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ部分及び下地部分とも F☆☆☆☆
4	表示ルール	「住宅部品表示ガイドライン」 キッチン・バス工業会表示指針による。
5	製造番号又は年月日	キャビネット本体に貼付の検査証によりご確認下さい。
6	ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	P B　F☆☆☆☆ MDF　F☆☆☆☆ 合板　F☆☆☆☆ 接着剤　F☆☆☆☆
7	本表示に関するお問い合せ先	お客さま相談センター TEL・FAXはキッチン取扱説明書（ウラ表紙）に記載

⚠警告

吊戸棚の取付けは、建築壁の構造を確かめて、取付・設置説明書通り正しくおこなう。
使用中に取付ネジがゆるみ、吊戸棚が落下して、ケガをするおそれがあります。
大工工事（取付下地）　キッチン取付・設置

電気・ガス・水道工事は、関連する法令、規定に従って、必ず「有資格者」がおこなう。
接続や、固定が不完全な場合は、発煙や火災、漏水の原因になります。

⚠注意

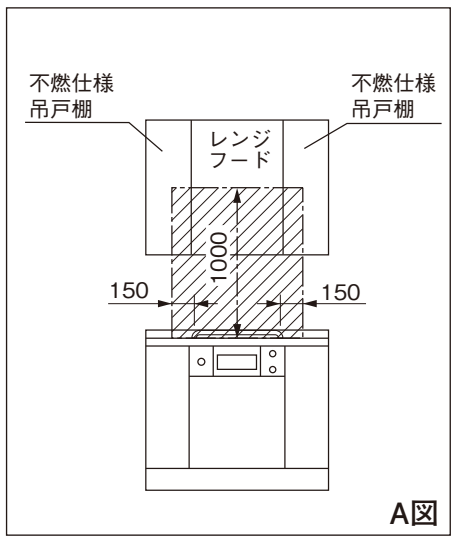
取付完了後は、扉の傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認する。
使用中に扉が落下して、ケガをするおそれがあります。

キッチンに組込まれる、電気製品・加熱機器・レンジフード・その他の機器については、それぞれの製品の取付・設置説明書・本体の注意表示を確認し、正しく取付・設置する。
正しく取付・設置しないと、思わぬ事故や、故障の原因となるおそれがあります。
電気工事　キッチン取付・設置

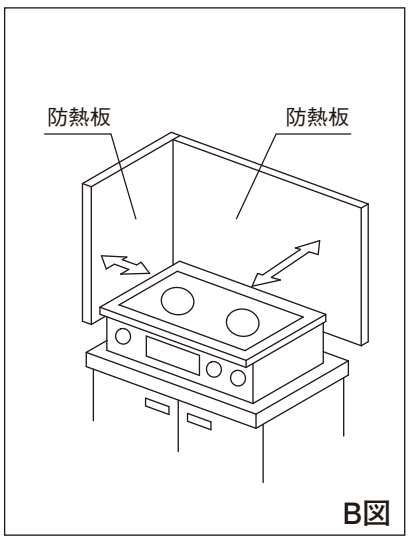
据付け・仕上げに使われる、溶剤、接着剤、洗剤、その他の薬品類については、容器などに記載の注意事項に従う。
正しく使わないと、人体に影響が出たり、使用部材の損傷や、劣化の原因になります。
キッチン取付・設置

■取付・設置前の確認

1.設置場所の水平・垂直・コーナーの直角度などのレベルが出ているか確認してください。
2.給湯水管・排水管の位置を確認してください。
3.レンジフードの電気配線・排気口の位置を確認してください。
4.加熱機器の配管、および配線接続位置を確認してください。IH機器の配線接続位置を確認してください。
5.アイレベルユニットなどの電気配線位置を確認してください。
6.吊戸棚を取付ける壁面の強度、桟（さん）が入っているかの確認、また、天井吊りする場合は天井の強度、照明付きの場合は電気配線の位置確認をしてください。
7.注文した製品と納入された製品の左右勝手、ガス種、周波数などを確認してください。また、付属部品の有無を確認してください。
8.火災予防条例（東京都）ではA図の斜線内に可燃物があってはならないと規定されています。斜線内にはいる吊戸棚やレンジフードに隣接する吊戸棚については不燃仕様のものを設置してください。これ以上に規制されている地域もありますので、地域の条例に従ってください。（防火上有効に仕上げられていない壁面と加熱機器との距離が150mm以上とれない場合は防熱板を取付けてください。（B図））
9.壁面がキッチンウォールシステム「サンウォーレ」で仕上げられている場合は、加熱機器と壁は、75mm以上あけてください。加熱機器の熱でキッチンウォールシステム「サンウォーレ」が変色するおそれがあります。



A図

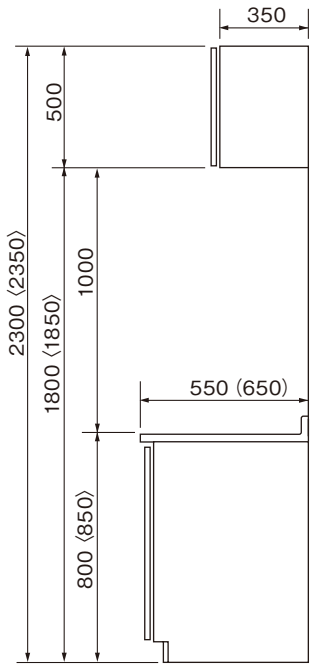


B図

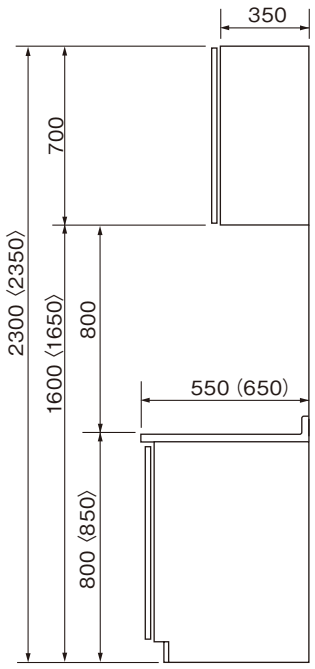
■取付位置 （単位mm）

下図の標準高さを参考にしてください。

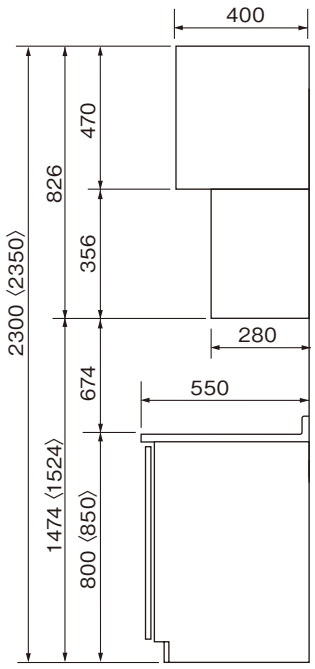
●開き扉吊戸棚（高さ50cm）



●開き扉吊戸棚（高さ70cm）



●引戸吊戸棚



※〈 〉内寸法は、台輪スペーサーを使用した場合です。

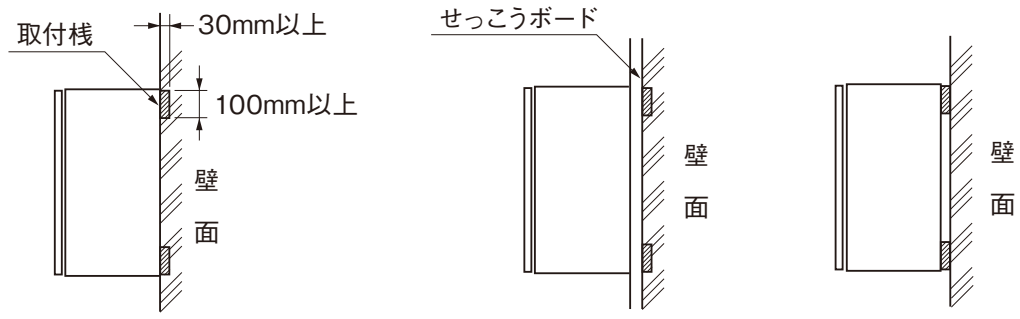
1 取付桟の取付け 大工工事

吊戸棚を取付・設置する壁面に、取付桟を取付けるか、埋込んでください。
せっこうボードで仕上げる壁面は、せっこうボードの内側に取付桟を取付けてください。

⚠ 警告 **以下の事項と条件を必ず守って取付・設置する。**
守らないと吊戸棚が落下するおそれがあります。

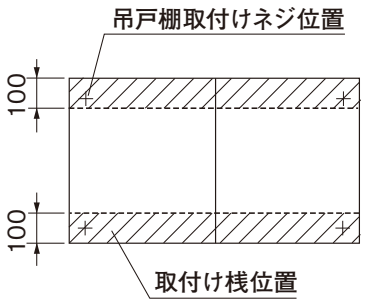
- 本体重量と収納重量の荷重に対して、桟木が落ちないだけの強度をもたせてください。(最大300kg/1キャビネット当たり)
  柱などに確実に固定してください。
- 桟木は硬い木材(広葉樹、マツ・ツカ等の強度のある針葉樹および合板)で、虫くいや、くされのない木材を使用してください。桟木は厚さ30mm以上、幅100mm以上が必要です。
  (合板は厚さ12mm以上あれば使用可能です)

(埋込みの場合) (せっこうボードの場合) (取付けの場合)

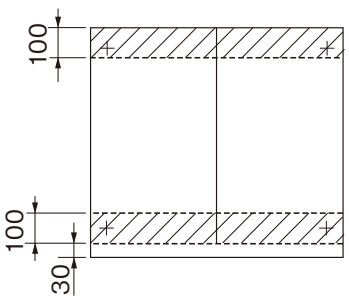


■取付桟位置(単位:mm)

●開き扉吊戸棚(不燃吊戸棚含む)
●引戸吊戸棚

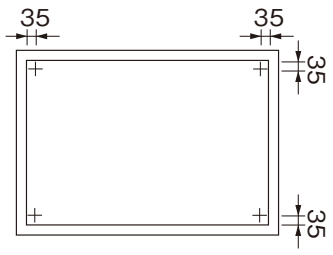


●照明スペース付開き扉吊戸棚

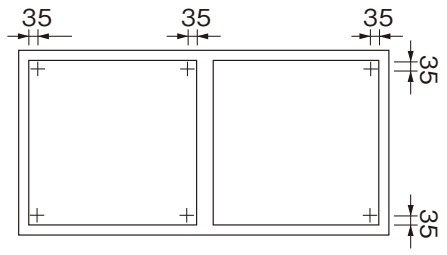


■取付ネジ位置およびネジ本数

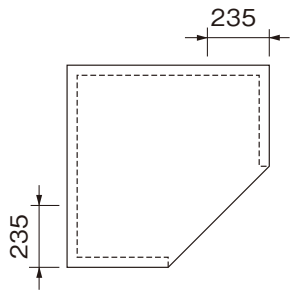
●間口900mm以下の場合(4ヶ所)(正面)



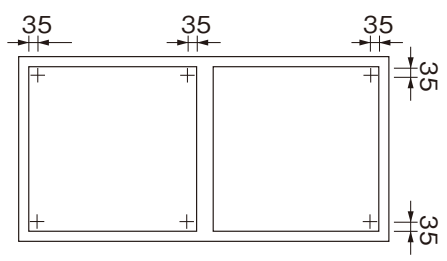
●間口1050mm以上の場合(6ヶ所)(正面)



●コーナー用吊戸棚(平面)



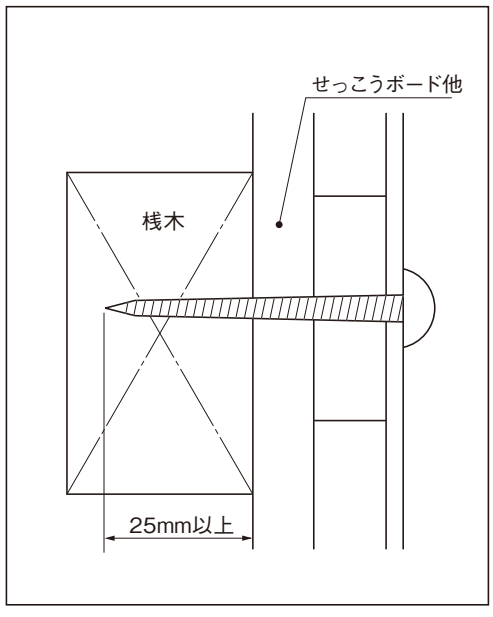
●引戸吊戸棚の場合(上箱・下箱共に)(正面)

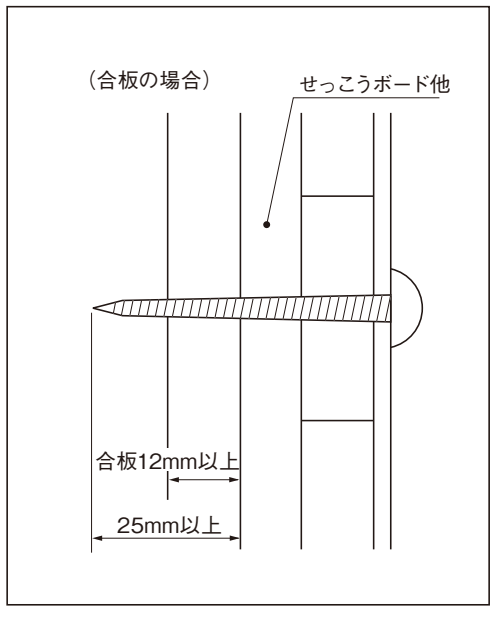


2 吊戸棚の取付け

⚠ 警告 **以下の事項と条件を必ず守って取付・設置する。**
守らないと吊戸棚が落下するおそれがあります。

- 取付ネジを締めすぎて空回りしたり、ネジ頭をとばしたりしないよう確実に固定してください。
- 取付ネジは必ず同梱しているネジを使用し、取付桟に25mm以上かかるようにしてください。
- 躯体側にネジ下穴をあける場合はφ2.6～φ2.7であけてください。それ以上であけるとネジの保持力が弱くなります。





2-1.開き扉吊戸棚の取付け

1.キャビネット背板の取付ネジ位置にあらかじめ下穴(φ4.5～φ5)をあけてください。
2.キャビネットに同梱の取付ネジ(4×60)で壁面に固定してください。

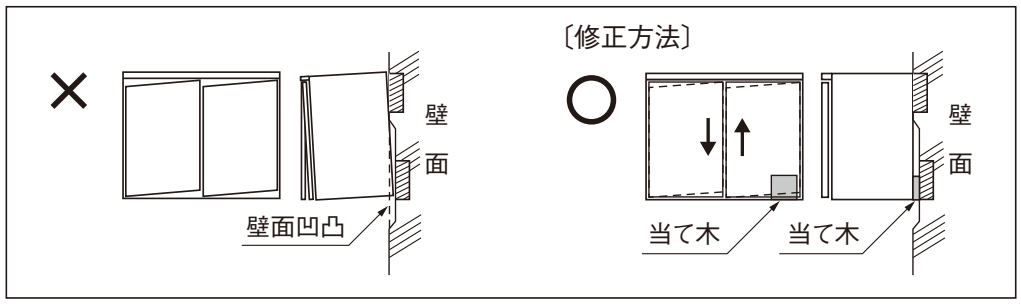
⚠ 注意 **天井への直付けはさけて、必ず支輪等を間に入れて取付・設置する。**
扉を開けたときに、天井にあたるおそれがあります。

支輪、天井フィラーなどの取付用部材が必要な場合は、吊戸棚を取付ける前に必要部材の取付けを行ってください。(設置用部材の取付けについては、専用の取付・設置説明書をご覧ください。)

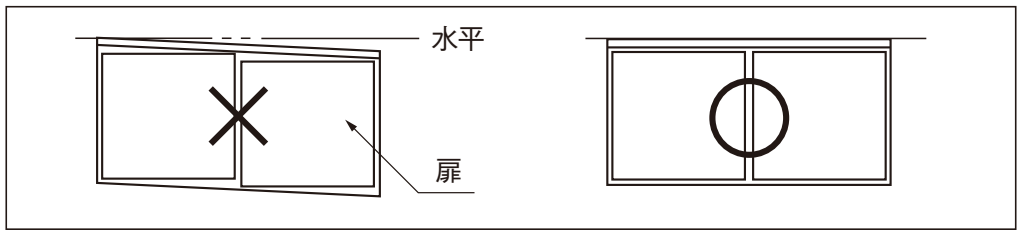
取付上のお願い

- 吊戸棚を取付ける壁面に凸凹があると、扉の段違いが生じます。壁面は必ず平面にしてください。壁面に凸凹があり、扉の段違いが生じた場合は、図のように修正して下さい。

※下図は、扉が左下がりの場合です。右下がりの場合は当て木を反対側に取付けてください。



- 吊戸棚は水平に取り付けてください。水平でないと扉に段違いが生じることがあります。



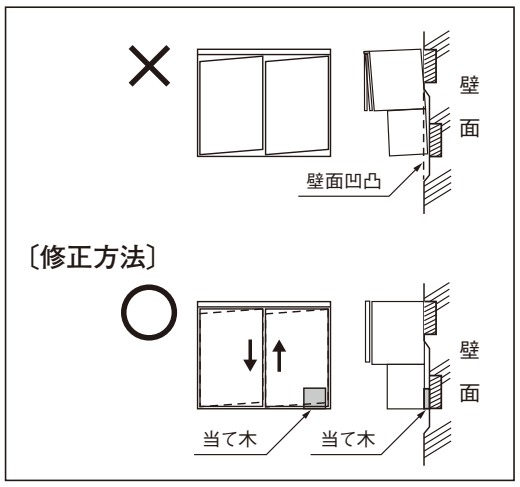
※以上の修正をおこなっても、扉の段違いを修正できない場合は、「6.扉の調整方法」に従い、調整をおこなってください。

2-2.引戸吊戸棚の取付け

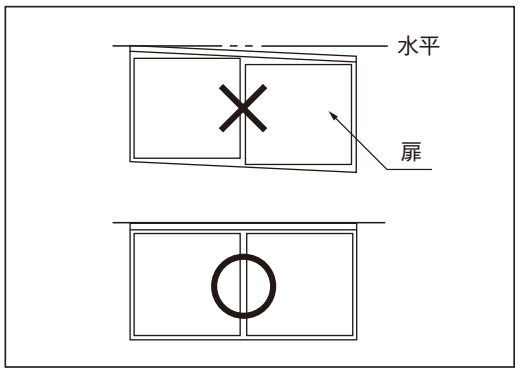
取付上のお願い

●吊戸棚を取付ける壁面に凸凹があると、引戸の動きが悪くなることがあります。壁面は必ず平面にしてください。壁面に凸凹があり、扉の段違いが生じた場合は、図のように修正して下さい。

※右図は扉が左下がりの場合です。右下がりの場合は、当て木を反対側に取付けてください。

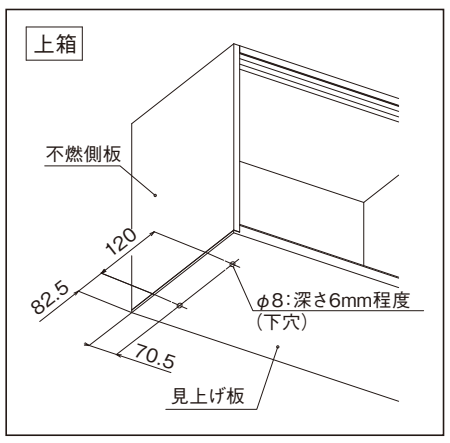


●吊戸棚は水平に取付けてください。水平でないと引戸の動きが悪くなることがあります。

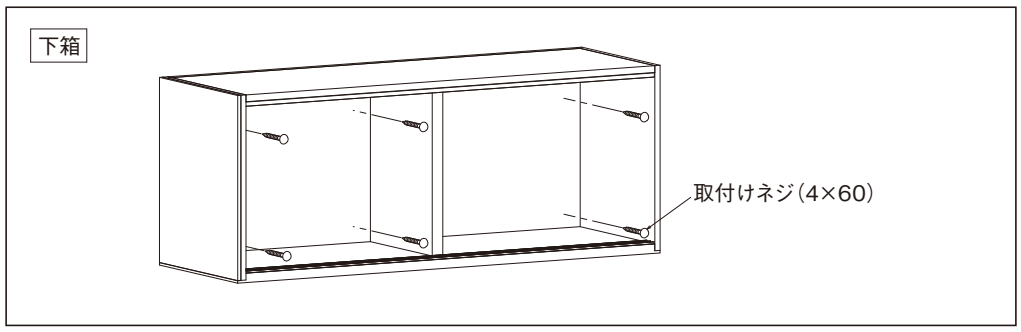


1.キャビネット背板の取付ネジ位置にあらかじめ下穴（φ4.5～φ5）をあけてください。（上箱、下箱共に）

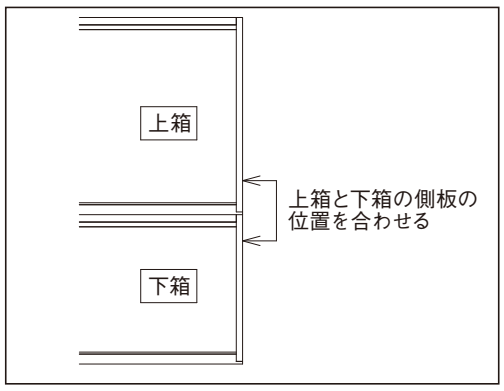
2.下箱にW1200、W1100用を設定する場合は、上箱の見上げ板（不燃側板側）に連結用の下穴（φ8、深さ6mm程度）を2ヶ所あけてください。
※上箱：W1200に下箱：W900を設定する場合は、上箱の見上げ板に下穴加工されていますので必要ありません。



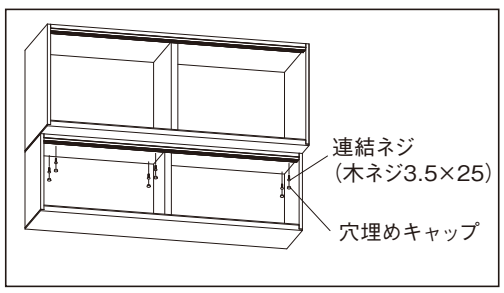
3.下箱を同梱の取付ネジ（4×60）で6ヶ所壁面に固定してください。



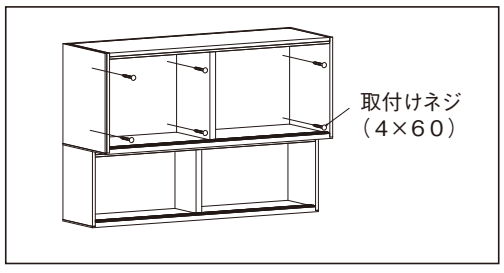
4.上箱を壁面固定されている下箱の上に乗せて、上箱-下箱の側板の位置を合わせてください。



5.下箱の天板に下穴があいていますので、その穴を使用して上箱と下箱を下箱側から同梱の連結ネジ（木ネジ：3.5×25）にて6ヶ所連結してください。
連結後は穴埋めキャップを連結穴に取付けてください。

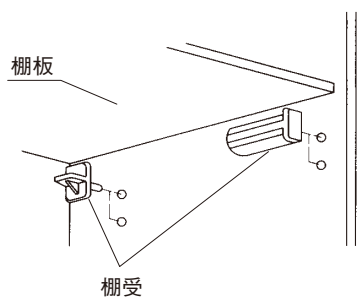


6.上箱を同梱の取付ネジ（4×60）で6ヶ所、壁面固定してください。



3 棚板の設置

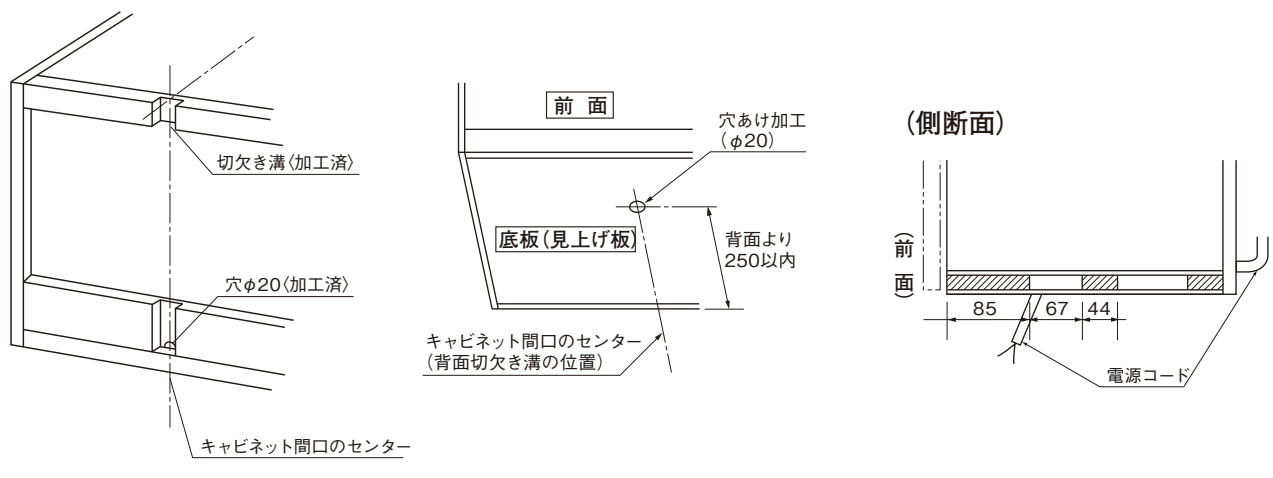
●棚板のセットは棚受けを隙間のないように奥まで差し込み、棚板を確実にのせてください。



4 照明スペース付開き扉吊戸棚

●キャビネットの下から見上げ板に配線用の穴（φ20mm程度）をあけてください。
●照明器具の取付けは照明器具に同梱の取付・設置説明書をご覧になり、正しくおこなってください。

電気工事は関連する法規に従って、必ず「有資格者」がおこなう。

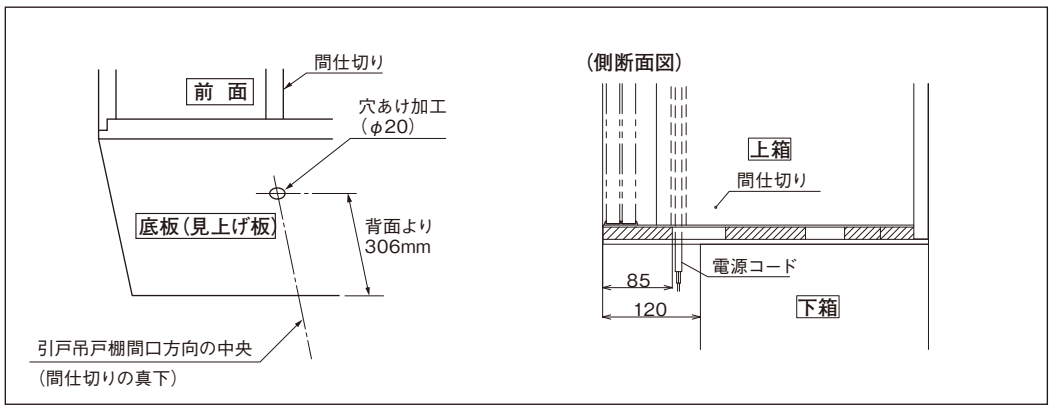


キャビネットの背面に電源コード配線用の切り欠き溝と穴（φ20）があけてあります。

5 引戸吊戸棚に棚下照明を使用する場合

●上箱の見上げ板に配線用の穴（φ20mm程度）をあけてください。
●上箱の天板に配線用の穴（φ20）があいています。その穴を使用し、間仕切りの中に電源コードを通してください。
●照明器具の取付けは照明器具に同梱の取付・設置説明書をご覧になり、正しくおこなってください。（電気工事は関連する法規に従って、必ず「有資格者」がおこなう事）

⚠注意 **見上げ板の吊戸前面から85mmまでの範囲に芯材が入っているため、棚下照明を固定するネジは、この範囲にくるようにする。**
固定ネジが芯材にかかっていないと、棚下照明が落下し、ケガをするおそれがあります。

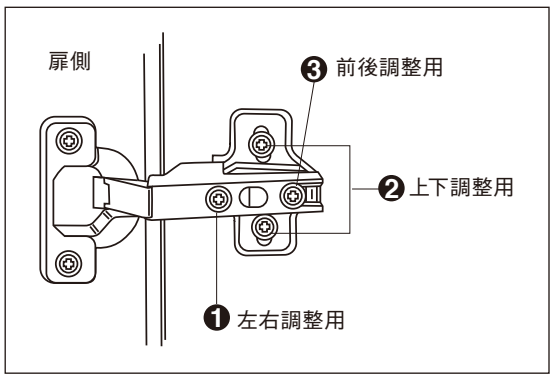


6 扉の調整方法

⚠注意 **調整終了後、扉の傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないことを確認する。**
使用中に扉が落下して、ケガをするおそれがあります。

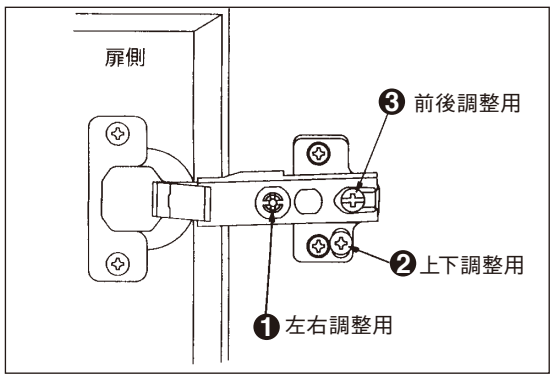
■木製扉の場合

扉の調整は丁番の ❶・❷・❸ のネジによって調整できます。
※❷·❸のネジをゆるめすぎると扉がはずれることがありますのでご注意ください。



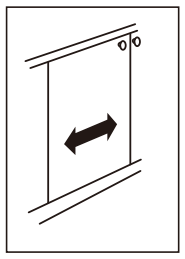
■ホーロー扉の場合

扉の調整は丁番の ❶・❷・❸ のネジによって調整できます。
※❸のネジをゆるめすぎると扉がはずれることがありますのでご注意ください。

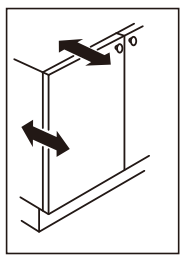


扉の調整後は、すべての丁番の ❷·❸のネジが締め付けられていることを確認してください。

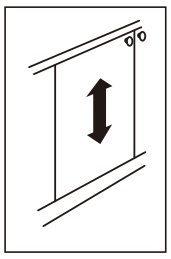
●左右調整
❶のネジを右に回すと丁番側に移動し、左に回すと丁番の反対側に移動します。



●前後調整
前後の開きは❸のネジで調整できます



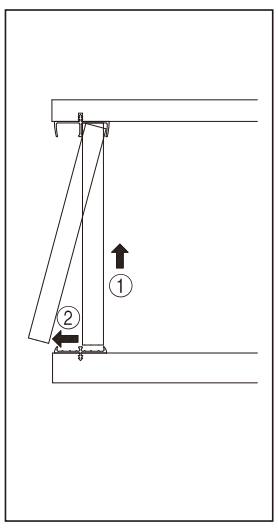
●上下調整
上下に扉が片寄っている場合は、❷のネジを緩めて座金の位置を調整します。（上下2ヶ所の丁番を調整してください）



●扉を取外したいとき
❸の前後調整ネジをゆるめます。取り外される際は扉をしっかり支えながらおこない、扉やキャビネットを傷つけないよう気をつけてください。

●引戸を取外したいとき
1.引戸を持ち上げます。
2.引戸を手前方向に斜めに傾けながら取り外します。

引戸を取付ける際には、取り外しと逆の手順で確実に取付けをおこなってください。



7 取付・設置担当者へのお願い

1. 清掃と養生

●取付・設置後のキャビネット、扉のホコリ・汚れは、やわらかい布で拭き取ってください。家具用ワックスやシンナー、アルコールなどの溶剤または研磨剤の入った洗剤は使用しないでください。変色したり、光沢をなくしたりして、扉やキャビネットの表面をいためます。
●取付後、内装工事などの後工事がある場合は養生をおこなってください。

2. 取付・設置後のチェック

●吊戸棚が壁面に確実に固定されているか確認してください。

⚠注意 **扉の傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないことを確認する。**
使用中に扉が落下して、ケガをするおそれがあります。

3. 後工事の説明と引継ぎ

●建築工事側で行っていただく後工事は、必ず建築工事担当者に引継いでください。
●取扱説明書は確実にお客さまに届くよう配慮してください。

4. 廃棄処分について

●廃棄処分の際は、必ず専門業者に依頼してください。

BL認定品の保証について

BL認定品は取付・設置の不具合に係る保証期間は、シンクの防水機能、キャビネット本体の剛性については5年間、その他の不具合については2年間です。
また、BL認定品には取付・設置の瑕疵並びにその瑕疵に起因する損害に係る優良住宅部品瑕疵担保責任保険・損害賠償責任保険が付されています。取付・設置説明書等で指示された取付・設置方法に適合する方法で取付・設置をおこなった者は、上記保険の被保険者として、取付・設置に関する瑕疵担保責任、及び瑕疵に起因する損害賠償責任を負う際には保険金を請求することができます。
BL認定品は吊戸棚の扉の裏面にBLマーク証紙が貼付されています。

株式会社 LIXIL
http://www.lixil.co.jp/

13.02.IB
5120277